

マイクロマシン／MEMS 分野関連 経済報告 2021 年 9 月号

2021 年 9 月 2 日
(一財) マイクロマシンセンター
(<http://www.mmc.or.jp/>)

マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。今月の経済報告をお届けします。

掲載内容

1. 全般動向 (内閣府発表 景気動向指数より)
2. 各経済指標
 - ・内閣府公表 月例経済報告 より
 - ・内閣府公表 設備投資(機械受注統計調査報告) より
 - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

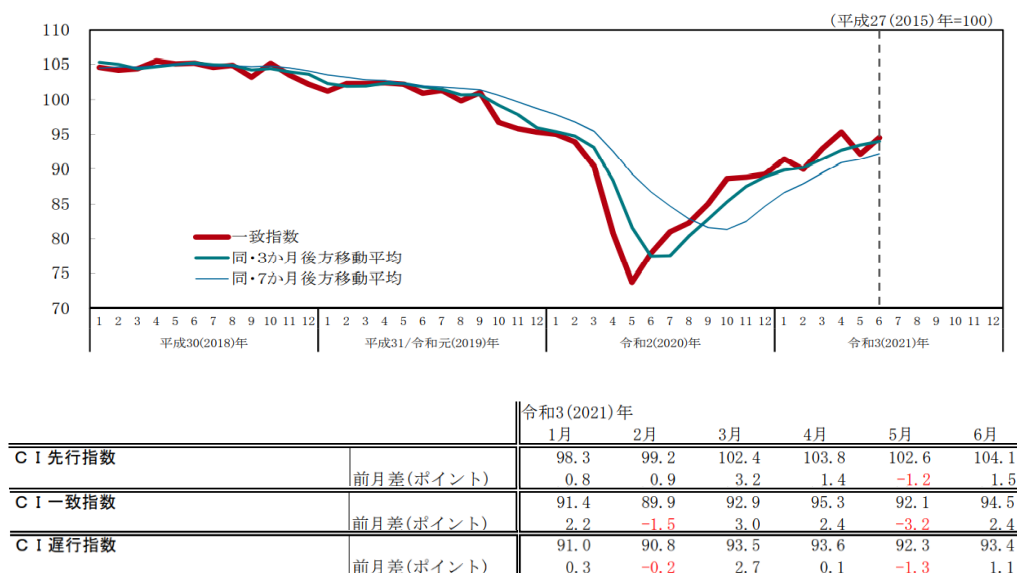
1. 全般動向

■ 景気動向指数 結果 令和 3 (2021) 年 6 月分 (内閣府、経済社会総合研究所 発表より抜粋) 6 月分改訂版 (令和 3 (2021) 年 8 月 25 日発表) (速報からの改訂状況) より

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202106rsummary.pdf>

- ① 6 月分 CI (平成 27(2015)年=100) (改訂値)は、
先行指数：104.1、一致指数：94.5、遅行指数：93.4
- ② 一致指数の基調判断
景気動向指数 (CI 一致指数) は、改善を示している。

① 一致指数の推移



▶ 内閣府「景気動向指数」関連 TOP ページ：

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di.html>

▶ 景気動向指数「令和 3 (2021) 年 6 月分 (速報) (8 月 6 日公表)」pdf：

(概要) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202106psummary.pdf>

(公表資料) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202106report.pdf>

2. 各経済指標

■ 月例経済報告（8月）（内閣府、令和3年8月26日 公表）

（月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料より抜粋）

▶ <https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2021/08kaigi.pdf>

<日本経済の基調判断>

（現状）【判断維持】

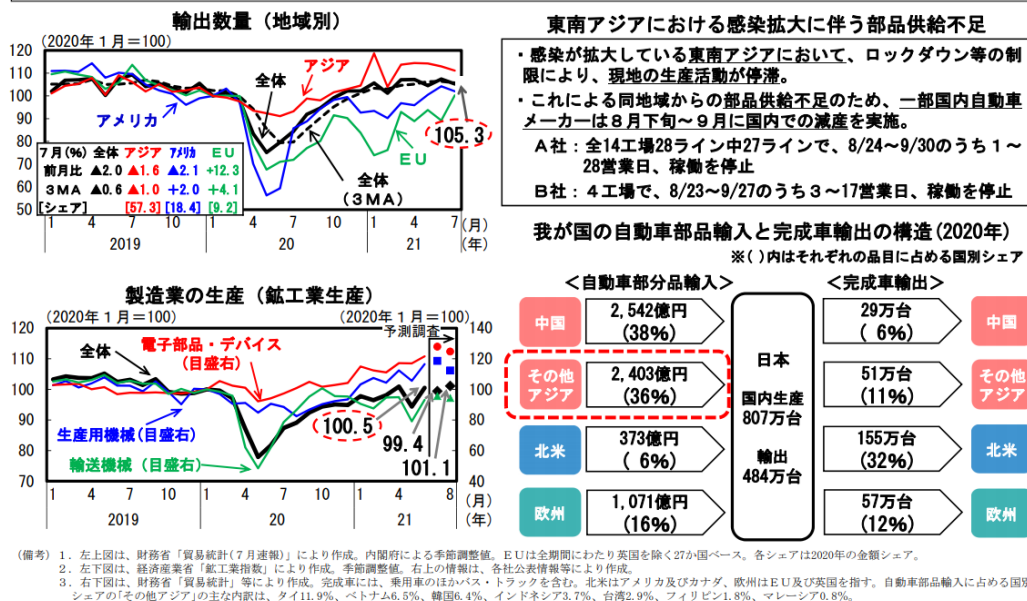
- ・ 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。

（先行き）

- ・ 先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

今月のポイント(4) 輸出・生産

- ▶ 海外経済の回復を背景に、輸出は緩やかな増加が続く。その下で、製造業の生産も、5G関連等で需要が旺盛な電子部品・デバイスや設備投資向けの生産用機械を中心に持ち直している。
- ▶ ただし、東南アジアにおける感染拡大に伴う部品供給不足が生じており、一部自動車メーカーは8月下旬～9月に国内での減産を発表。国際的なサプライチェーンを通じた感染症の影響には注意が必要。



- ▶ 内閣府「例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」関連 TOP ページ：

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/kaigi.html>

- ▶ 内閣府「月例経済報告（令和3年8月）」（pdf）：

<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2021/0826getsurei/main.pdf>

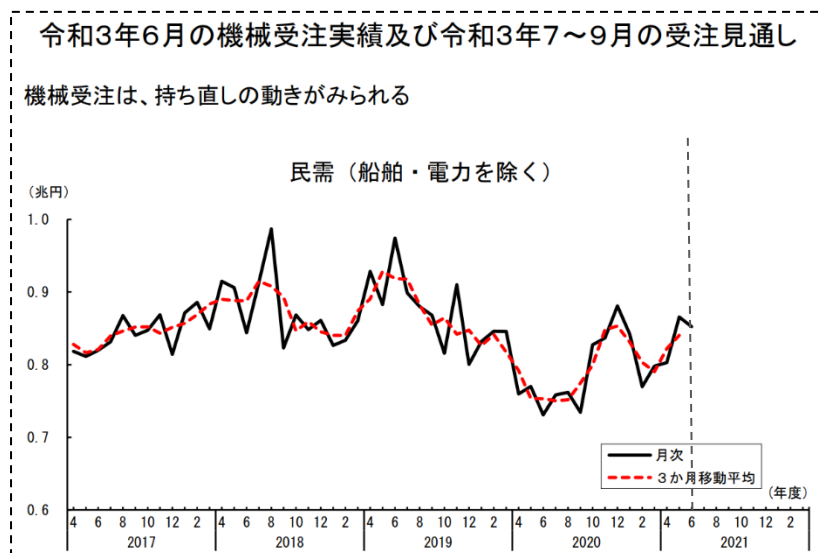
■ 設備投資 令和3年6月実績：機械受注統計調査報告
 (令和3年8月18日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋)
 ▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2021/2106juchu.html>

調査結果の概要（季節調整値）：

1. 機械受注総額の動向をみると、
2021（令和3）年5月前月比9.8%増の後、6月は同6.6%減の2兆5,738億円となった。
2. 需要者別にみると、
民需は前月比0.4%減の9,925億円、官公需は同2.8%減の2,576億円、外需は同10.0%減の1兆2,205億円、代理店は同3.7%増の1,249億円となった。
3. 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、
2021（令和3）年5月前月比7.8%増の後、6月は同1.5%減の8,524億円となった。
このうち、製造業は同3.6%増の4,039億円、非製造業（除く船舶・電力）は同3.8%増の4,705億円となった。

（以下図表は「令和3年6月の機械受注実績 概要（PDF版）」より抜粋）

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2021/2106gaiyou.pdf>



対 前 月（期） 比									
期・月 需要者	2020年 (令和2年)		2021年 (令和3年)			2021年 (令和3年)			
	7～9月 実績	10～12月 実績	1～3月 実績	4～6月 実績	7～9月 見通し	3月 実績	4月 実績	5月 実績	6月 実績
受 注 総 額	5.9	11.7	9.7	3.8	3.9	△30.0	18.2	9.8	△6.6
民 需	2.0	6.1	△7.4	6.7	2.4	2.7	3.7	8.5	△0.4
〃（船舶・電力を除く）	△0.3	12.9	△5.3	4.6	11.0	3.7	0.6	7.8	△1.5
製 造 業	3.1	11.4	△2.2	12.1	3.4	△0.1	10.9	2.8	3.6
非製造業（除く船舶・電）	△2.2	15.5	△9.2	△1.8	16.9	9.5	△11.0	10.0	3.8
官 公 需	△10.7	1.8	△10.8	5.3	0.2	2.7	△2.7	3.1	△2.8
外 需	23.2	19.7	31.4	3.6	6.7	△53.9	46.2	11.4	△10.0
代 理 店	2.0	3.3	2.4	11.2	△1.1	3.2	8.4	2.8	3.7
民需（船舶電力を除く） 3か月移動平均	-	-	-	-	-	△1.6	4.0	2.2	-

(備考) 1. 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. △印は減少を示す。
 3. 見通しは2021年6月末時点の調査。

▶ 内閣府「経済社会総合研究所 統計表一覧：機械受注統計調査報告関連」TOP ページ：
<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html>

■ 鉱工業指数(生産・出荷・在庫、生産能力・稼働率、生産予測指数)

～製造業の動きから見る日本の景気～（経済産業省 公表）

【2021年7月分】鉱工業指数の動向（速報）（2021年8月31日発表）より抜粋

- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015_202107sj.pdf
- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/book/b2015_202107sj.html

－ 生産は持ち直している －

- ・ 今月は生産、出荷、在庫は低下、在庫率は上昇であった。
- ・ 製造工業生産予測調査によると、8月、9月ともに上昇を予測している。
- ・ 総じてみれば、生産は持ち直している。

・生産は、前月比-1.5%の低下。

低下業種：自動車工業、電気・情報通信機械工業、無機・有機化学工業等

上昇業種：生産用機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業、
電子部品・デバイス工業等

・出荷は、前月比-0.6%の低下。

低下業種：電気・情報通信機械工業、石油・石炭製品工業、輸送機械工業（除、自動車工業）等

上昇業種：電子部品・デバイス工業、汎用・業務用機械工業、化学工業（除、無機・有機化学工業・医薬品）等

・在庫は、前月比-0.6%の低下。

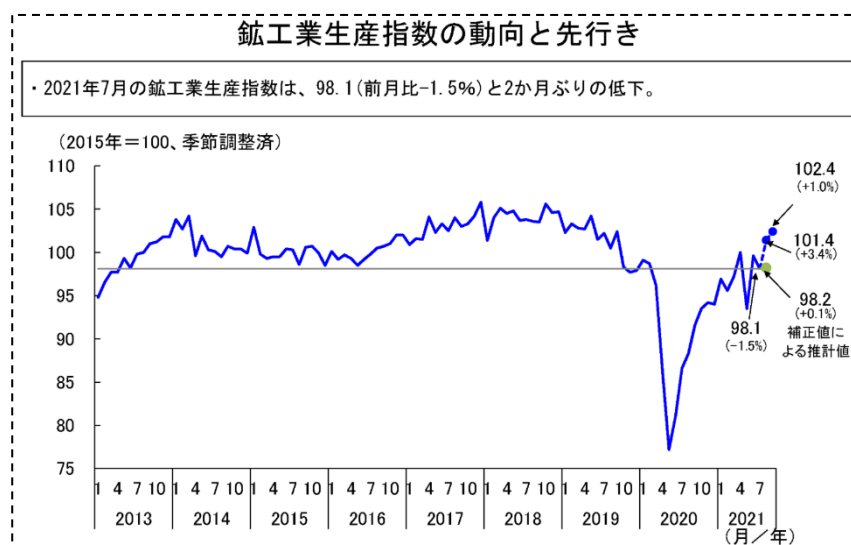
低下業種：自動車工業、化学工業（除、無機・有機化学工業・医薬品）、金属製品工業等

上昇業種：鉄鋼・非鉄金属工業、汎用・業務用機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業等

7月の「最新指数の解説」より抜粋

- ▶ https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/kako/20210831_1.html

（解説） 7月の鉱工業生産は、自動車工業や電気・情報通信機械工業などが低下したことを受けて、全体として前月比マイナス1.5%と2か月ぶりの低下。
基調判断は、「生産は持ち直している」を据え置き。



詳細は以下の**経済産業省 ホームページ**をご参照下さい。

鉱工業指数（最新の）「結果の概要」：

- ▶ <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

3. その他の動向

■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2021 年 8 月 31 日発表より抜粋)

【2021 年 6 月動向概況】

- ・ 2021 年 6 月のグローバル出荷額は 3,592 億円、前年比 131.5%となり、前年比プラスとなった。
- ・ 品目別出荷は受動部品（前年比 134.4% 1,718 億円）、接続部品（同 124.3% 824 億円）、変換部品（同 134.2% 535 億円）、その他の電子部品（同 131.2% 514 億円）となった。
- ・ 地域別出荷は日本（前年比 132.9% 791 億円）、米州（同 137.4% 362 億円）、欧州（同 155.5% 351 億円）、中国（同 121.7% 1,355 億円）、アジア・その他（同 136.5% 732 億円）となった

【月別出荷金額】

1. 月別出荷金額 (2021.08.31 発表：毎月更新)

電子部品出荷額（億円）			2021年度				2021年度累計			
			4月		5月		6月		4月-6月	
			金額(億円)	前年比（%）	金額(億円)	前年比（%）	金額(億円)	前年比（%）	金額(億円)	前年比（%）
世界計			3,578	138	3,250	139	3,592	131	10,421	136
（日本）			746	130	665	133	791	132	2,203	132
品 目 別	受動部品	1,693	139	1,596	142	1,718	134	5,008	138	
	コンデンサ	1,238	139	1,171	140	1,243	132	3,653	137	
	抵抗器	151	139	143	141	160	144	454	141	
	トランス	36	136	34	128	36	131	107	132	
	インダクタ	262	142	238	150	272	140	772	144	
	その他	5	78	8	256	6	132	20	136	
	接続部品	817	142	743	143	824	124	2,385	135	
	スイッチ	332	158	282	139	322	118	937	136	
	コネクタ	482	133	457	146	499	128	1,440	135	
	その他	2	104	2	102	2	113	8	106	
	変換部品	548	143	482	137	535	134	1,565	138	
	音響部品	101	132	90	136	111	130	303	132	
	センサ	221	133	198	131	227	142	647	135	
	アクチュエータ	224	161	193	143	196	127	614	143	
	その他の電子部品	519	123	428	126	514	131	1,462	126	
電源部品	192	132	185	137	203	129	581	132		
高周波部品	327	118	242	118	310	132	881	123		

【地域別出荷金額】

2. 地域別出荷金額
«2021年度»

地域別出荷金額 (億円)	2021年度						2021年度累計	
	4月		5月		6月		4月-6月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
グローバル	3,578	138	3,250	139	3,592	131	10,421	136
日本	746	130	665	133	791	132	2,203	132
米州	341	229	326	194	362	137	1,030	177
欧州	344	203	329	197	351	155	1,026	182
中国	1,382	117	1,241	120	1,355	121	3,979	119
アジア他	763	146	687	146	732	136	2,183	142

詳細は以下の JEITA (電子情報技術産業協会) ホームページをご参照下さい。

▶ https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html

以上